

防災サポーター養成講座 & 避難所開設・設営訓練 & 防災サポーター研修

菟田野地区の危険を知る

宇陀市危機管理課

1. 近年の自然災害

(1) 2022年（令和4年）の大雨による洪水、土砂災害

2022年（令和4年）8月1日～6日の大雨及び台風8号

北海道、東北、北陸地方を中心に記録的な大雨。

新潟県・山形県で線状降水帯が発生

青森県・山形県・福島県・新潟県・石川県・福井県で記録的な大雨

北日本や北陸地方を中心に、土石流災害、河川の増水、氾濫、低地浸水

死者2名、負傷者9名、全壊37棟、半壊762棟

2022年（令和4年）9月17日～20日の台風14号

鹿児島県に上陸し、日本列島を縦断。

九州地方を中心に西日本から北日本にかけて猛威を振う

死者5名、負傷者161名、全壊17棟、半壊248棟

(2) 2021年(令和3年)の大雨による土砂災害

2021年(令和3年)7月集中豪雨

静岡県、神奈川県を中心に大雨、

熱海市で土石流災害

死者26名、行方不明者1名、

重傷者1名、軽傷者1名、

避難者85世帯、153名



(3) 2020年(令和2年)の大雨による洪水、土砂災害

2020年7月豪雨(7/3~7/31)

7/3~7/31の29日間で、気象庁が名付けた**過去最長期間の豪雨**

死者84名、行方不明者2名、
重傷者25名、軽傷者55名、
家屋の全壊1620棟、半壊4509棟、

(熊本、鹿児島、福岡、佐賀、長崎、
岐阜、長野に大雨特別警報)



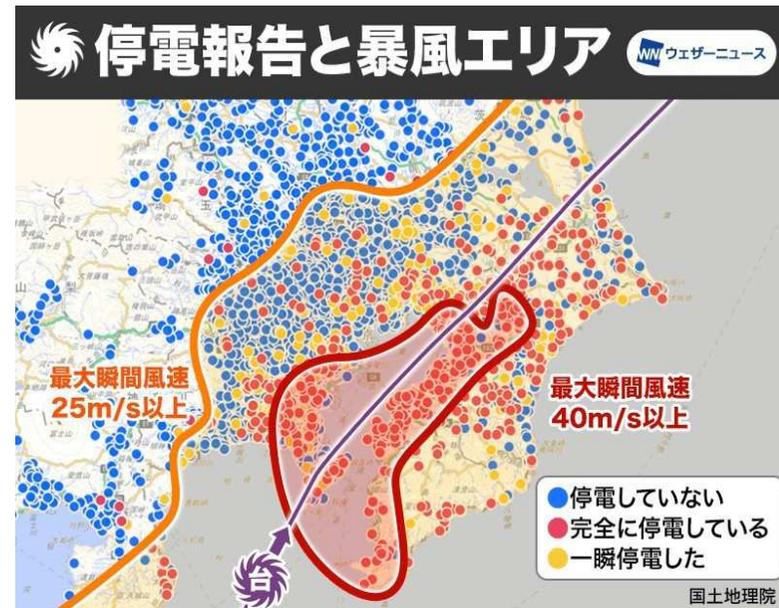
記録的な大雨で冠水した熊本県人吉市街=4日午後 [時事通信ヘリコプターより]

(4) 2019年(平成31年・令和元年)の 大雨による洪水、土砂災害

2019年台風15号(9/5~9/9)

関東地方 死者1名、重傷者13名、軽傷者137名、
家屋の全壊342棟、半壊3927棟、一部破損70397棟、

停電93万4千戸、停電は約1ヶ月超、
断水13万9千戸、断水は17日間、
携帯電話通信障害



(5) 自然災害はどのように発生するのか



- 災害が起きやすい地形や地盤
- 危険な場所、対物の強度
(住んでいる所の危険な場所)



- 災害の大元となる自然現象
(豪雨・長雨・融雪・地震・火山噴火等)



2. ハザードマップで見る菟田野地区の危険

(1) 土砂災害

毎年のように台風、大雨、地震などによる「土砂災害」がくり返し発生しています。

◎土砂災害警戒区域等の確認

自宅が土砂災害警戒区域等かを、ハザードマップで必ず確認。

◎「土砂災害警戒情報」

大雨により土砂災害の危険度が、高まった市町村を特定して、奈良県と気象台が共同で発表する情報。

◎自宅など今いる場所が、「土砂災害警戒区域等」であれば
近くの避難場所などの安全な場所に早めに避難。



(2) 2つの警戒区域（土砂災害警戒区域等）

◎土砂災害警戒区域（通称イエローゾーン）

土砂災害が発生した場合、住民の生命または身体に危害が生ずるおそれがあると認められた土地の区域。

（奈良県内 10,810箇所）

◎土砂災害特別警戒区域（通称レッドゾーン）

土砂災害警戒区域のうち土砂災害が発生した場合、建築物に損壊が生じ、住民の生命または身体に著しい危害が生じるおそれがあると認められる土地の区域。

（奈良県内 9,832箇所）

(3) 土砂災害警戒区域等の指定状況（宇陀市）

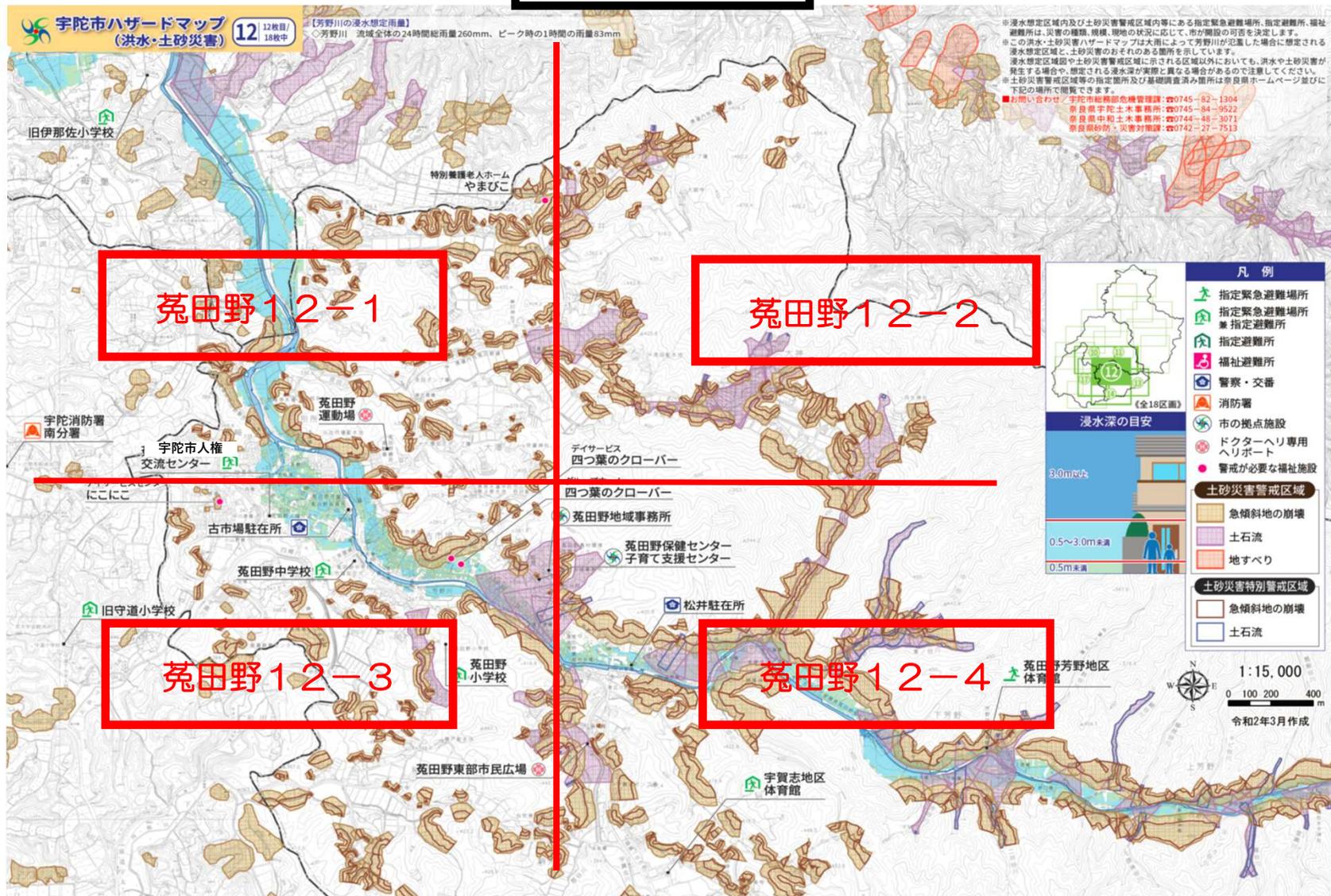
項 目		急傾斜地の崩壊 (がけ崩れ)		土石流		地すべり		合 計	
県土木事務所	市町村名	警戒区域 (イエロー)	うち特別 (レッド)	警戒区域 (イエロー)	うち特別 (レッド)	警戒区域 (イエロー)	うち特別 (レッド)	警戒区域 (イエロー)	うち特別 (レッド)
宇陀土木 事務所	宇陀市	1,259	1,232	512	434	23	0	1,794	1,666

※奈良県は、土砂災害から県民の生命を守るため、土砂災害防止法に基づき、土砂災害警戒地区及び、土砂災害特別警戒地区を指定。

(4) 洪水、土砂災害の危険

菟田野12

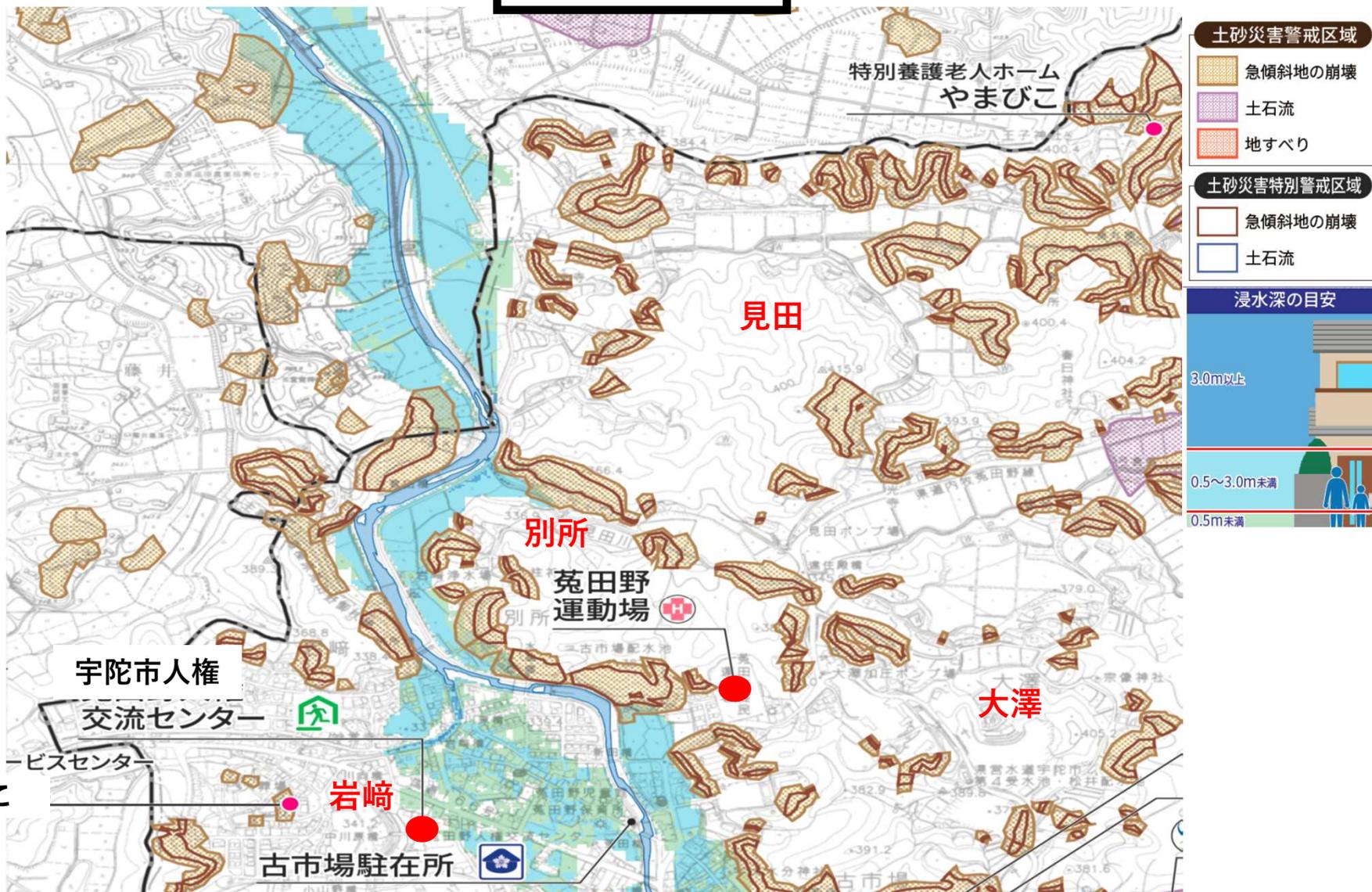
ハザードマップ



(4) 洪水、土砂災害の危険

菟田野12-1

ハザードマップ

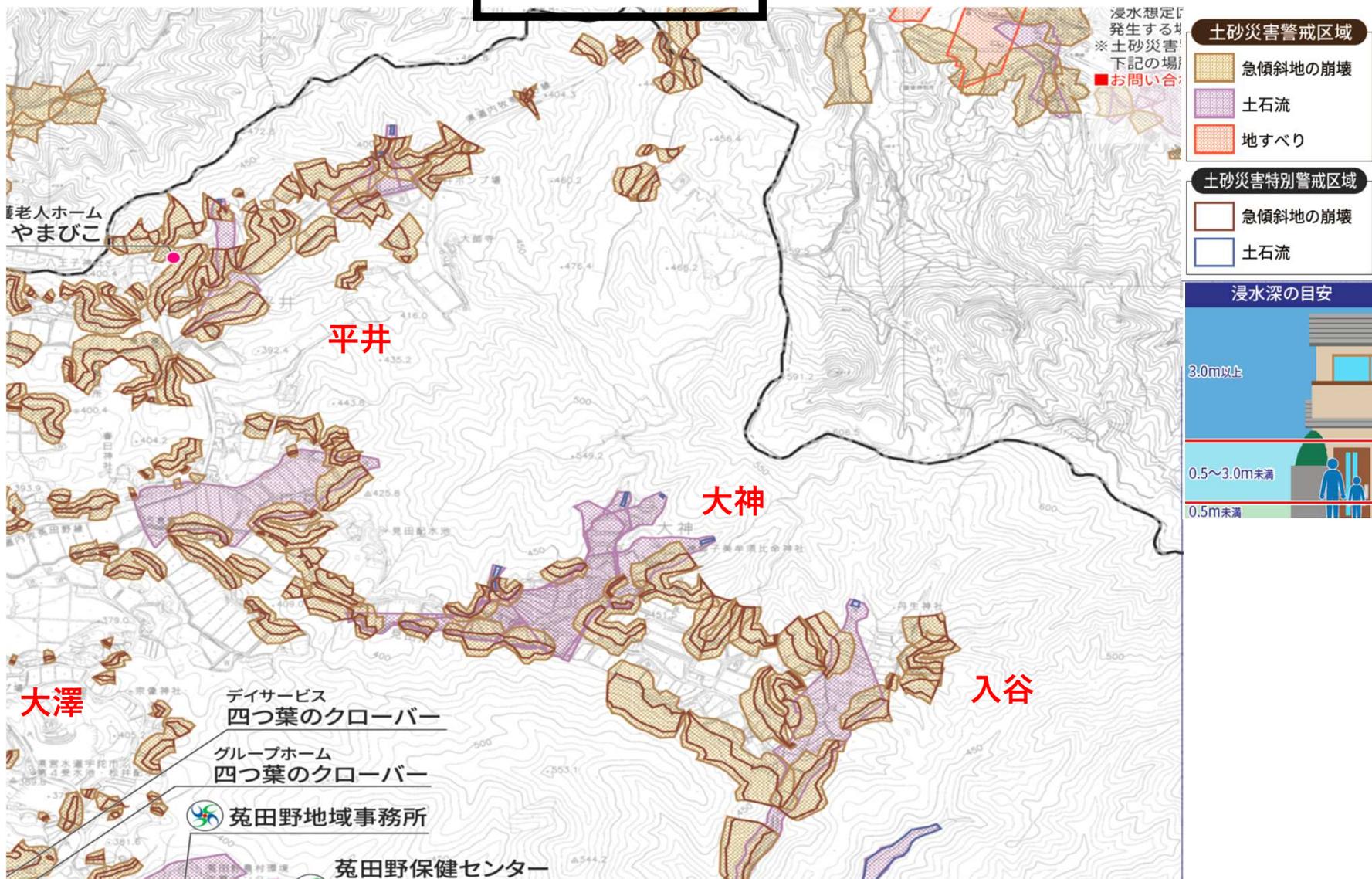


そ いん
素因

(4) 洪水、土砂災害の危険

菟田野12-2

ハザードマップ



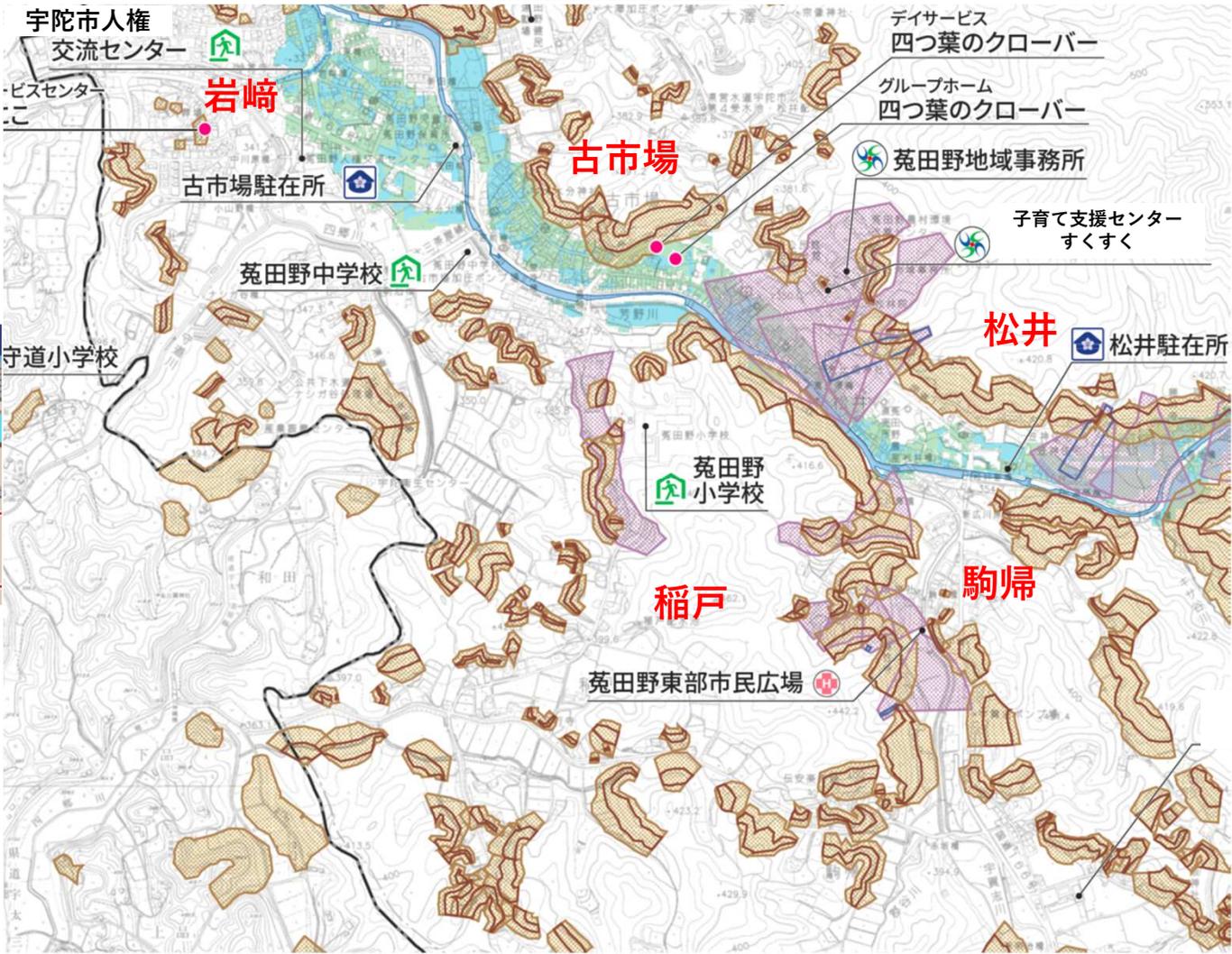
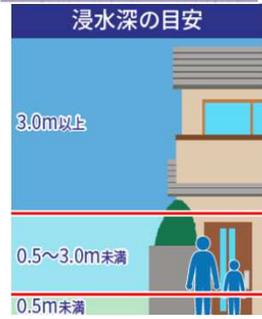
(4) 洪水、土砂災害の危険

菟田野12-3

ハザードマップ



- 土砂災害警戒区域**
 - 急傾斜地の崩壊
 - 土石流
 - 地すべり
- 土砂災害特別警戒区域**
 - 急傾斜地の崩壊
 - 土石流



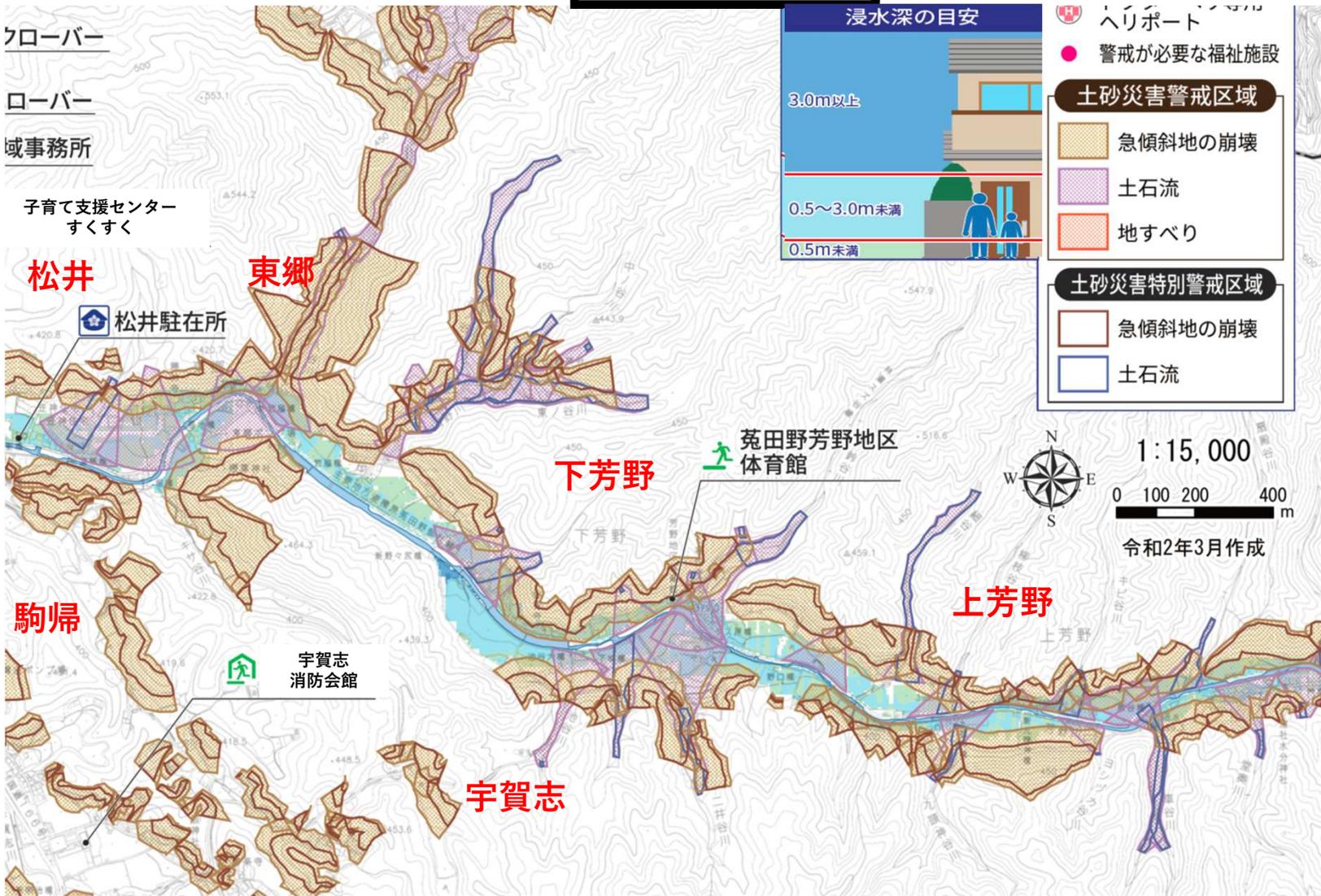
東郷

宇賀志
消防会館

(4) 洪水、土砂災害の危険

菟田野12-4

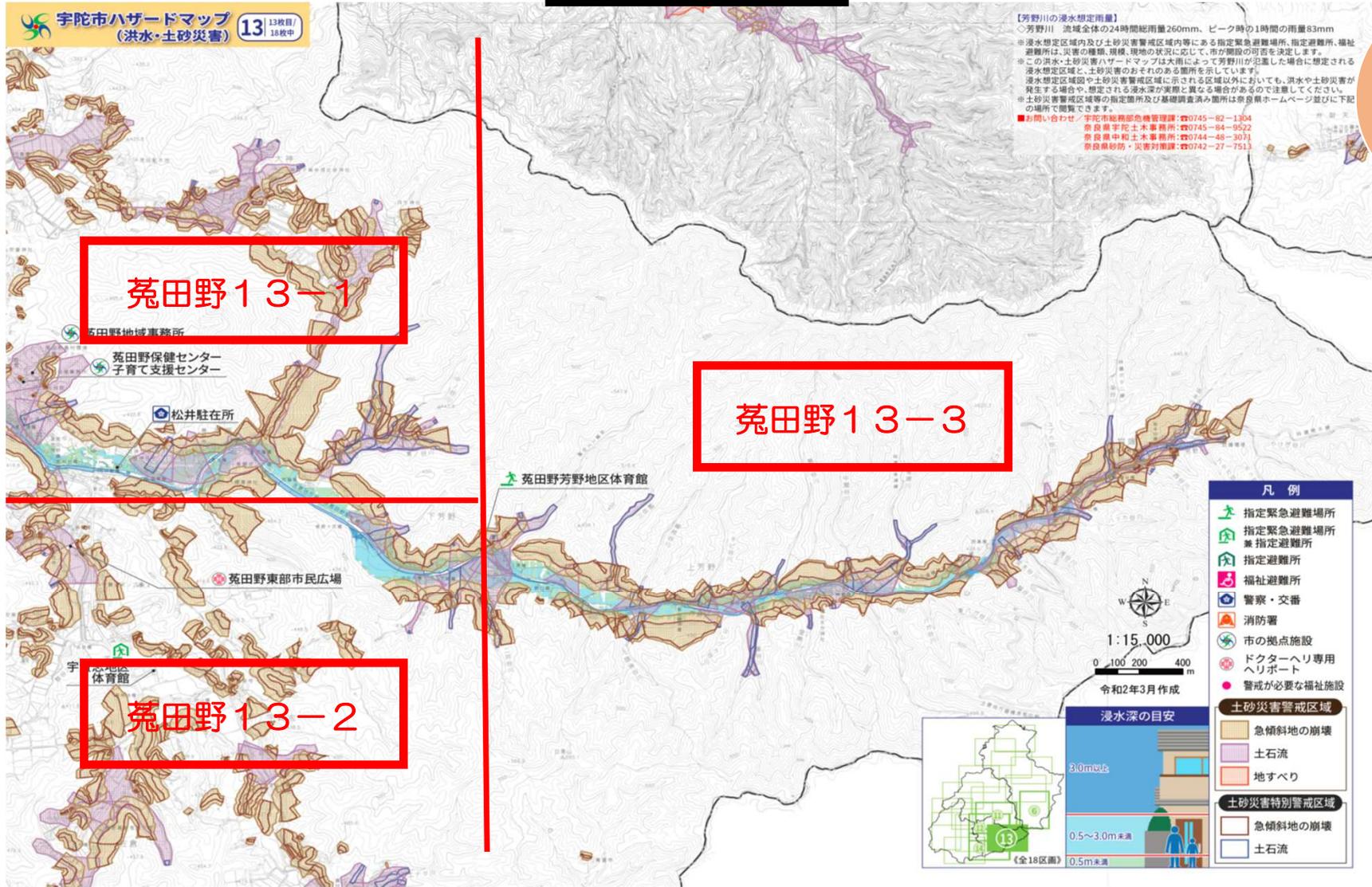
ハザードマップ



(4) 洪水、土砂災害の危険

菟田野13

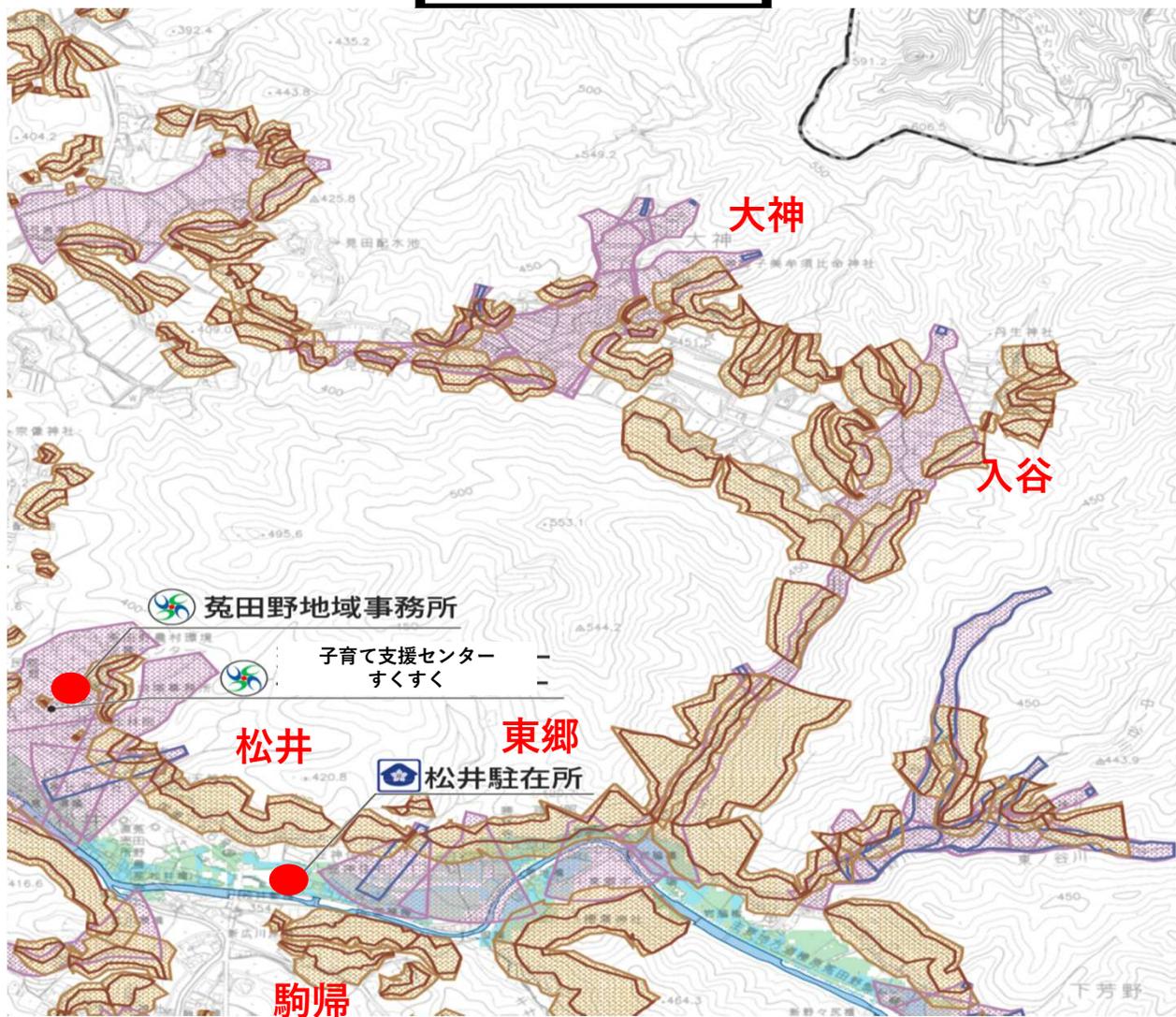
ハザードマップ



(4) 洪水、土砂災害の危険

菟田野13-1

ハザードマップ



土砂災害警戒区域

- 急傾斜地の崩壊
- 土石流
- 地すべり

土砂災害特別警戒区域

- 急傾斜地の崩壊
- 土石流

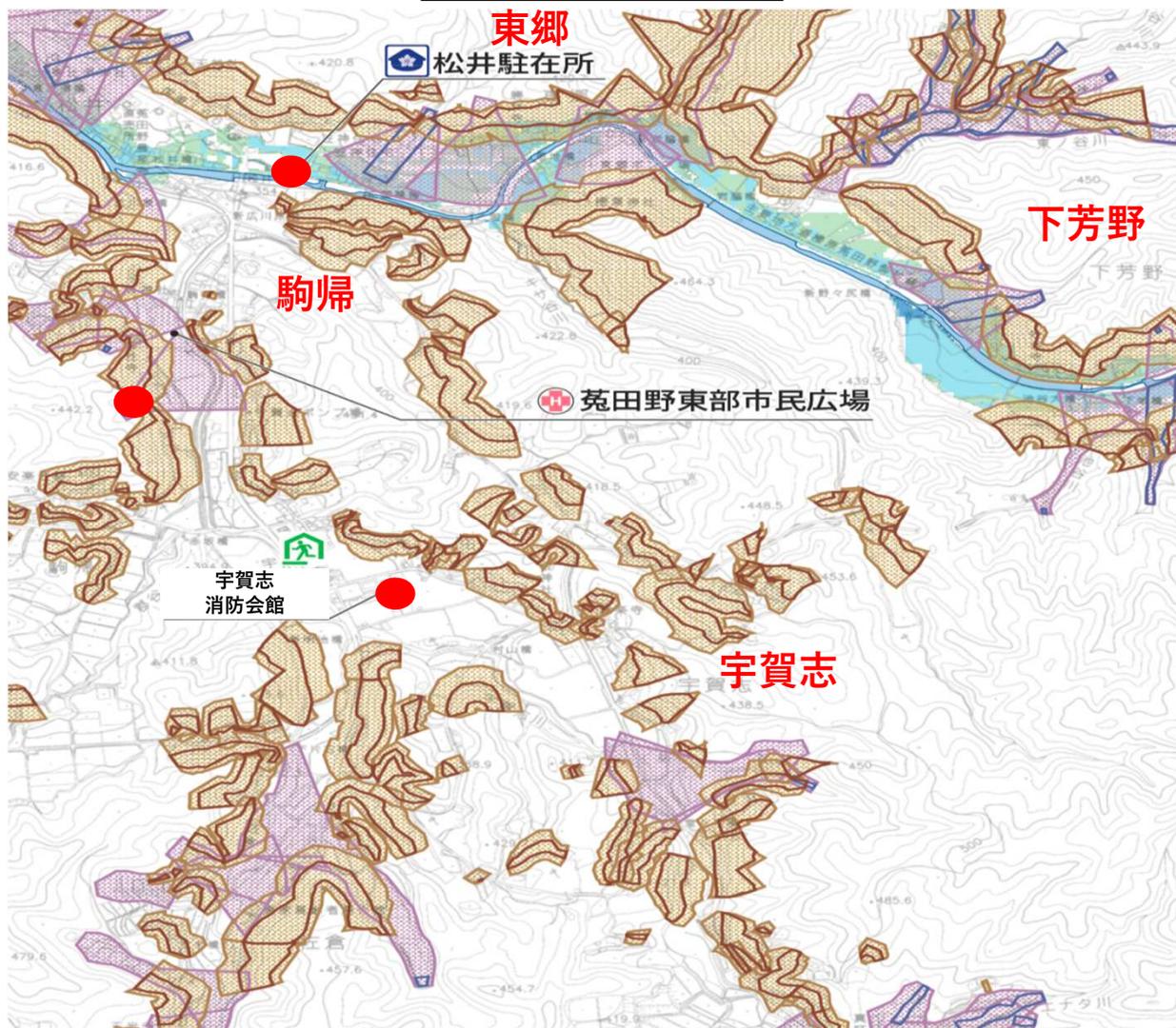
浸水深の目安

- 3.0m以上
- 0.5~3.0m未満
- 0.5m未満

(4) 洪水、土砂災害の危険

菟田野13-2

ハザードマップ



土砂災害警戒区域

- 急傾斜地の崩壊
- 土石流
- 地すべり

土砂災害特別警戒区域

- 急傾斜地の崩壊
- 土石流

浸水深の目安

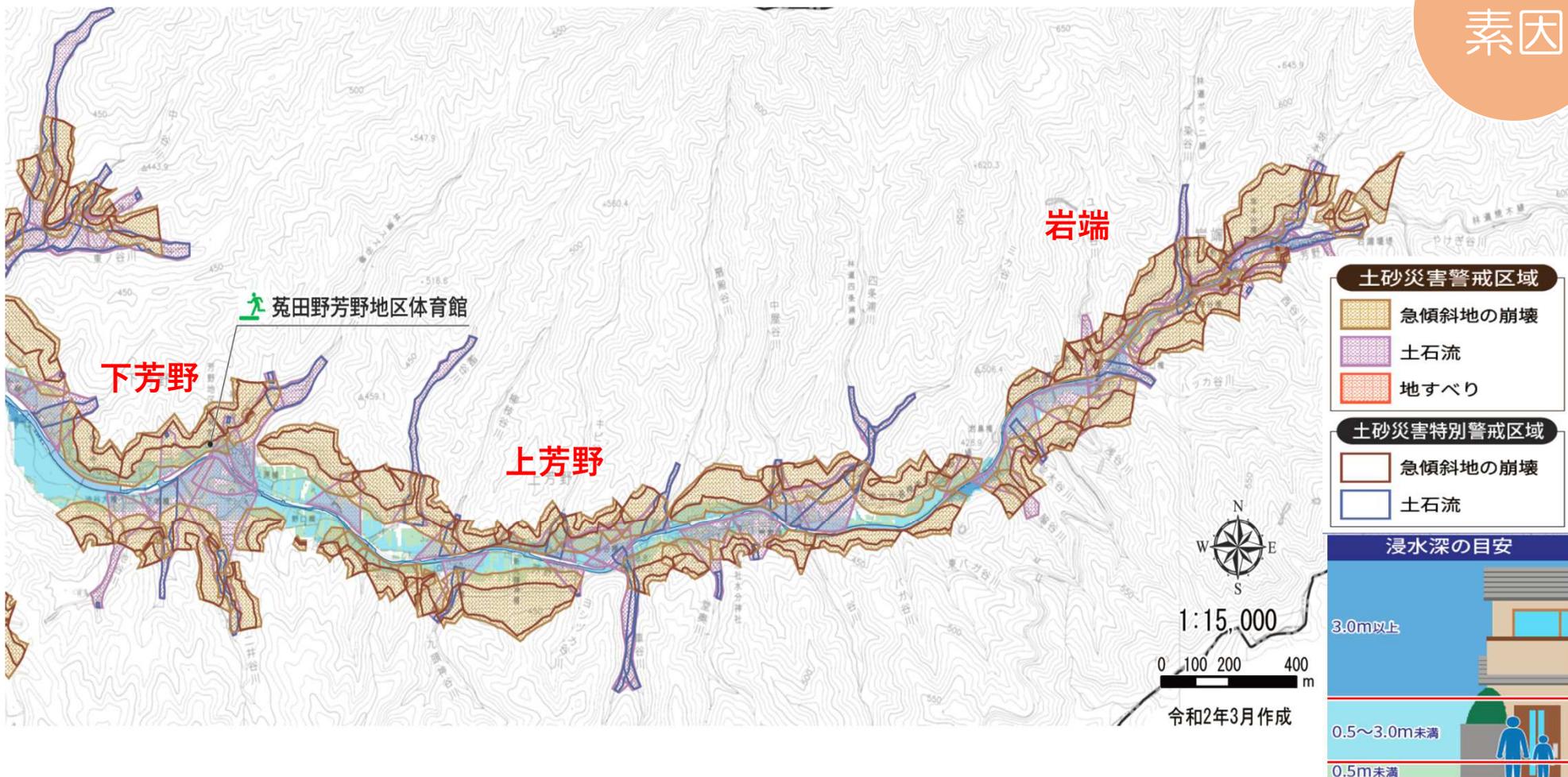
- 3.0m以上
- 0.5~3.0m未満
- 0.5m未満

(4) 洪水、土砂災害の危険

菟田野13-3

ハザードマップ

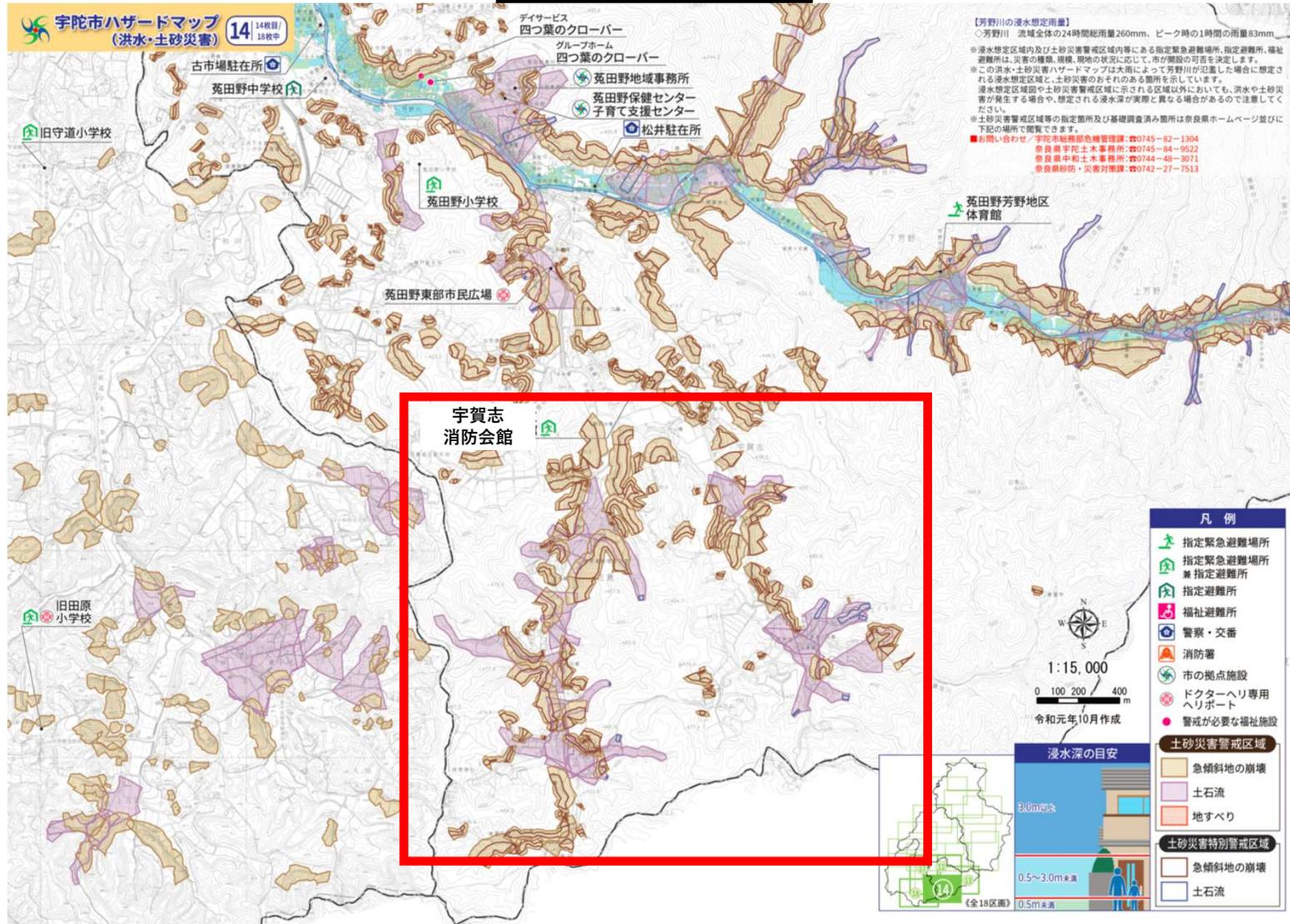
そ いん
素因



(4) 洪水、土砂災害の危険

菟田野14

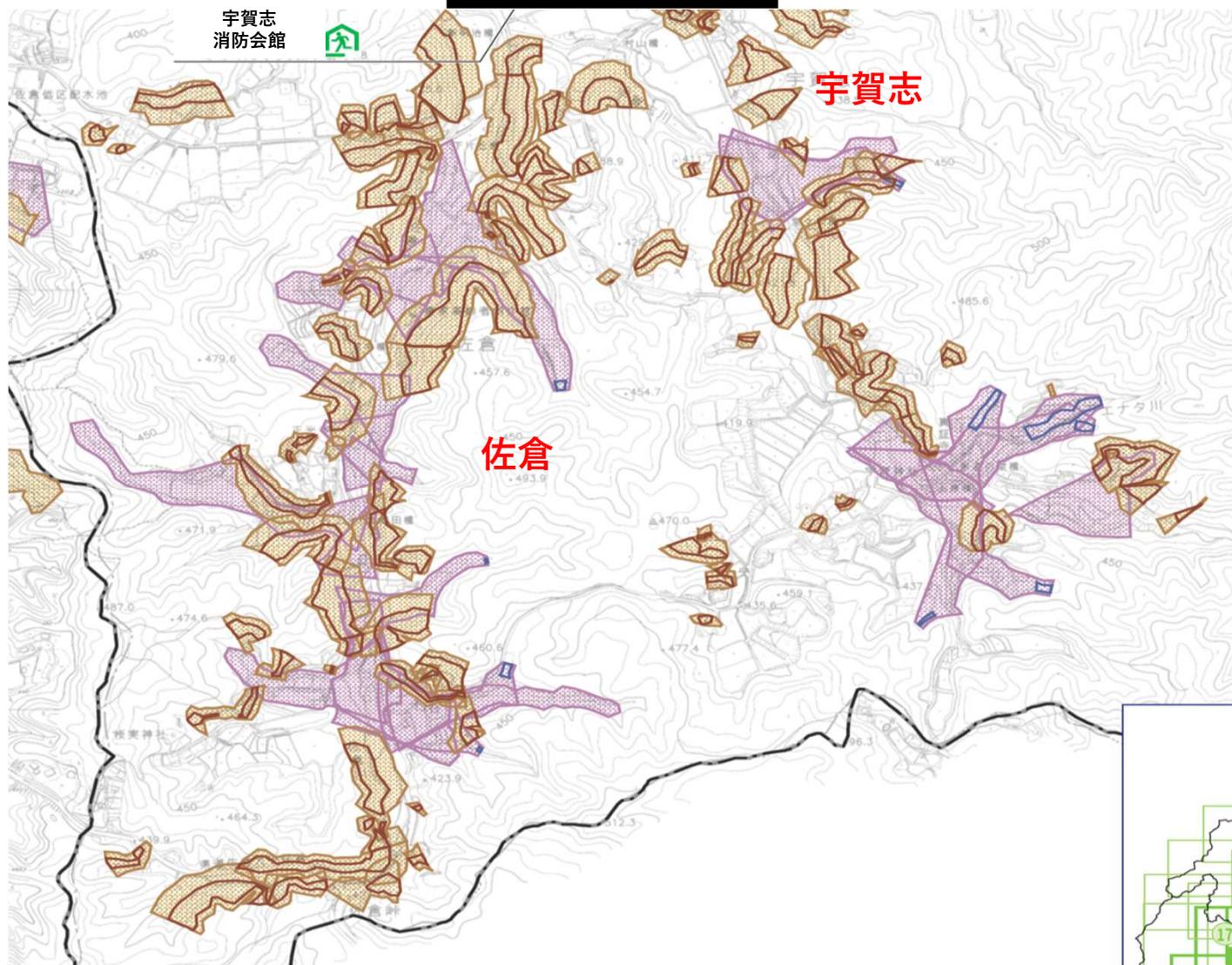
ハザードマップ



(4) 洪水、土砂災害の危険

菟田野14

ハザードマップ



3. さまざまな風水害

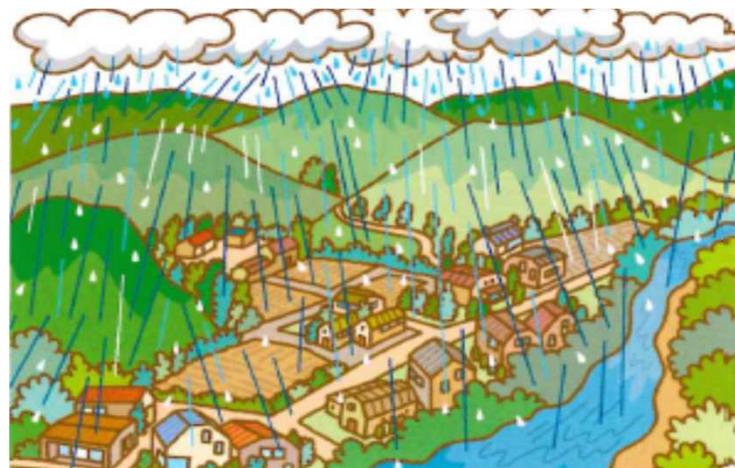
ゆういん
誘因

○集中豪雨や台風などによる風水害

- ・年々被害規模が拡大しています。
- ・但し、風水害はある程度は発生や経過が事前に予測できます。
- ・防災気象情報などにしっかり収集して、減災に努めましょう。

○集中豪雨

- ・短時間のうちに狭い地域に集中的に降る豪雨、梅雨の終わり頃によく起きる。
- ・河川の氾濫、土砂崩れ、がけ崩れなど大きな被害が予想される。
- ・土砂災害警戒区域、がけ付近などは気象情報に十分注意し、万全な対策を。



ゆう いん
誘因

○集中豪雨の危険を知る

①短時間の大雨で水位が上昇

- ・ 河川、溪流、下水管、用水路などは、**激しい雨が降ると周りから急激に雨水が流れ込み数分から数十分で危険な状態になる。**

②下水の排水能力を超える大雨

- ・ **下水道の雨水排水能力を大きく超える豪雨が頻繁に発生している。**

③離れた場所の雨でも影響する

- ・ **自分居る場所で強く雨が降っていないなくても、上流で降った雨が流れてきて、下流の地域では危険な状態になる場合がある。**



ゆう いん
誘因

○台風に備える

- ・ 強風と大雨の両方、またはどちらかを伴う熱帯低気圧のことで、**最大風速がおよそ17メートル以上で「台風」と呼ばれます。**
- ・ **台風が接近したら気象情報に注意して被害を出さないように備えましょう。**
- ・ **不要不急の外出は控える。**
- ・ 強風による**落下物や飛来物、樹木の倒木**などに注意が必要。



○浸水害から避難するときのポイント

◎避難は早めに

- ・ 浸水する前に声を掛け合って早めの避難。
- ・ 夜間に大雨が予想される場合は明るいうちに避難。



◎動きやすい服装

- ・ 荷物は最小限にし、背負い両手を空ける。
- ・ 長靴は水が入ると動きにくい、運動靴で避難。



◎長い棒の利用と無理をしない

- ・ 長い棒を杖にして浸水で見えない側溝、くぼみ、障害物に注意。
- ・ 歩行可能な浸水深の目安は約50cm。
- ・ 避難遅れは高所で救助を待つ。

○土砂災害から避難するときのポイント



◎長雨や豪雨に注意

- ・大雨による注意が呼びかけられたら、早めの避難。

◎前兆現象に注意

- ・土のにおいがする、川の水が減少する、地鳴りがするなどは、「前兆現象」です。部分的な土砂災害発生の証拠ですから、避難情報を待たずに自らの判断で避難。



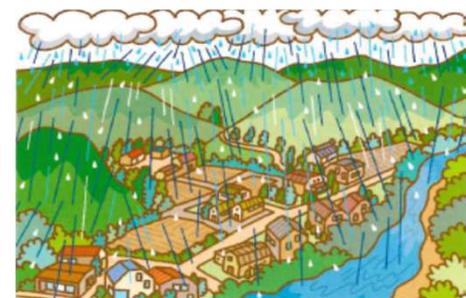
◎危険区域から出る。安全確認後まで戻らない

- ・不安を感じたら、土砂災害警戒区域等の危険個所の外へ出る。
- ・避難情報などが解除され安全が確認できるまで帰宅しない。

○降雨情報に注意

土砂災害の多くは、大雨が原因です。
天気予報の降雨情報に注意が必要。

ゆういん
誘因



◎線状降水帯

- ・積乱雲が線状に次々に発生して、ほぼ同じ場所を通過もしくは停滞し続ける自然現象。
- ・結果、極端な集中豪雨をもたらす災害を引き起こす原因になる。

◎記録的短時間大雨情報

- ・1時間に100ミリ前後の数年に一度程度しか起こらないような猛烈な雨が観測された場合に気象台が発表する気象情報です。

◎土砂災害の危険性

- ・1時間の雨量が50～80ミリ以上、降り始めから200～300ミリ以上の降雨情報が出たら、土砂災害の発生の危険性が高い。

○知っておくべき5つのポイント



- ① 避難とは「難」を「避」けること、
安全な場所に居る人まで避難する必要はありません。
- ② 避難先は小中学校等（指定避難所）だけではありません、
安全な場所にある親戚、知人宅等に避難することも考える。
- ③ マスク、消毒液、体温計等の
非常持出品はできるだけ持参する。
- ④ 市が指定する避難所等は変更・増設される可能性あり。
平時、災害時には市のホームページ等で確認する。
- ⑤ 豪雨時の屋外移動は車を含めて危険です。やむをえず車中泊を
する場合は、浸水しないよう周囲の状況等を十分確認する。



4. 警戒レベルを用いた避難情報

警戒レベル	行動を促す情報
5 災害発生 または切迫	緊急安全確保
〈警戒レベル4までに必ず避難!〉	
4 災害の おそれ高い	避難指示
3 災害の おそれあり	高齢者等避難
2 気象状況悪化	大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)
1 今後気象状況 悪化のおそれ	早期注意情報 (気象庁)

- ・ 災害発生または切迫
- ・ 住民の行動 命の危険 直ちに安全確保

- ・ 災害のおそれが高い
- ・ 住民の行動 危険な場所から全員避難

- ・ 災害のおそれあり
- ・ 住民の行動 避難に時間のかかる高齢者等は危険な場所から避難

警戒レベル

状況

避難情報等

警戒レベル相当情報

〜 〈警戒レベル4までに必ず避難!〉 〜

警戒レベル

4

●災害のおそれ高い



避難指示 (宇陀市が発令)

危険な場所から全員避難

警戒レベル4 避難指示で危険な場所から全員避難しましょう。

- 氾濫危険情報
- 土砂災害警戒情報
- 洪水警報の危険度分布 (危険) など

警戒レベル

3

●災害のおそれあり



高齢者等避難 (宇陀市が発令)

危険な場所から高齢者等は避難

避難に時間のかかる高齢者や障がいのある人とその支援者などは、警戒レベル3 高齢者等避難で危険な場所から避難しましょう。

- 氾濫警戒情報
- 大雨警報 (土砂災害)
- 洪水警報の危険度分布 (警戒) など

警戒レベル

状況

避難情報等

警戒レベル相当情報

警戒レベル
5

●災害発生または切迫



緊急安全確保 (宇陀市が発令)

命の危険 直ちに安全確保!

災害が発生、またはまさに発生しようとしている場合、高所への移動、近くの堅固な建物への退避、屋内の屋外に面する開口部から離れた場所への待避など緊急に安全を確保するようにします。

- 大雨特別警報 (浸水害)
- 大雨特別警報 (土砂災害)
- 氾濫発生情報
- 洪水警報の危険度分布 (災害切迫) など

~~~~~ 〈警戒レベル4までに必ず避難!〉 ~~~~~

## ◎最後に「自分の命は自分で守る」

ポイントは5つです。

- ① 自分及び家族の状況を知る  
(健康状態などを知っておく)
- ② 自宅の状況を知る  
(ハザード区域なのか、耐震性など)
- ③ 自宅周辺地域の状況  
(近隣や、避難経路上のハザード区域はどこなのか)



- ④ 非常持出品と備蓄品  
(水・食料・常用服薬・携帯トイレ・  
停電用ライト・ランタン・携帯ラジオ・  
電池等の避難生活に必要なもの)
- ⑤ 情報収集と避難判断  
(気象情報・避難情報を収集し、その情報  
をしっかりと理解し、早めの避難判断と  
避難行動をとる。)

令和5年12月3日

宇陀市危機管理課